

県中農林ニュース

ふくしまから はじめよう。『食』と『ふるさと』 新生運動ニュース



【写真：いちご（田村市）】

第16号（令和2年3月発行）

～目次～

- 農林業関係の動き P. 1～7
- 頑張る農林業者 P. 8
- おいしい6次化商品 P. 8

編集・発行 福島県県中農林事務所

～農林業関係の動き（トピックス）～

石川町に集落営農法人としての一般社団法人古内田んぼの会が設立されました！

【須賀川農業普及所】

1月12日、石川町沢井地区の古内興農会館において、一般社団法人古内田んぼの会の設立総会が開催されました。

当法人は、石川町沢井地区で基盤整備事業への取組をきっかけに、事業実施地区のうち古内集落において、今後の集落での営農や生活環境の維持を目的に設立されたものであり、構成員は、前身の古内集落営農組合時代から、意欲的に取り組んできた17名で組織されています。

基盤整備後は水稻を中心にしながら、新たにブロッコリーやきゅうりなどの園芸品目も導入していく予定であり、管内の集落営農組織のモデルとして今後の活動が期待されます。

当所でも県農業経営相談所や関係機関と連携しながら、農地中間管理事業を活用した農地集積や地域農業の発展のため活動してまいります。



【一般社団法人古内田んぼの会の皆さん】

令和元年度福島県農業普及指導成果発表会にて田村農業普及所職員が1位に輝きました！

【田村農業普及所】

1月24日、県農業総合センターにおいて、県及び県農業改良普及職員協議会主催の農業普及指導等の成果に関する発表会が行われ、関係者約180名が出席しました。発表会では、県内各農林事務所の普及指導員14名が、農業者に対する技術や経営指導の活動成果の事例を発表し、3名の審査員が活動成果、関係機関との連携、発表に対する熱意について評価を行いました。

当普及所の鈴木技師が「田村地域におけるピーマン産地の育成」と題し、発表を行った結果、見事1位に輝きました。

田村地域の生産者、関係機関・団体が一体となり、県内一のピーマン産地を作り上げてきたとともに、生産性向上及び新規作付者確保に向けた活動により、産地平均単収が向上し、作付者が増加したことが評価されました。

鈴木技師は、今後も、魅力ある、活気ある産地を目指し、さらなる生産振興を支援していきたいと、決意を語りました。



【鈴木技師の発表の様子】

新・農業人フェアに出展しました！

【田村農業普及所】

1月25日、東京都・池袋サンシャインシティにおいて、首都圏を中心とした全国の就農希望者に対する就農相談会へ田村地域就農支援プロジェクトとして出展しました。

フェアには、市町村や農業団体、農業法人など全国から262ブースが出展し、842名の来場がありました。

当ブースには16名の就農希望者が相談に訪れ、田村地域での就農や生活についての説明を熱心に聞き入り、就農に向けた具体的な質問もありました。

相談に訪れた人の中には、2月8日に田村地域で開催された現地見学会にも参加するなど、就農に対する意欲の高さが伺えました。

今後も新規就農者の確保のため、各種会議を活かして新規就農希望者等の相談・支援を関係機関・団体と連携して実施していきます。



【新・農業人フェアの様子】

令和元年度第2回県中地方・地域産業6次化ネットワーク交流会 と第2回県中地方・地域特産品クラスター分科会を開催しました！ 【企画部】

1月29日、郡山ビューホテルにおいて、ふくしま地域産業6次化サポートセンターと共催で第2回県中地方・地域産業6次化ネットワーク交流会を開催し、138名の参加がありました。

交流会前半では、6次化推進コーディネーターなどから、消費者に求められる6次化商品についての理解を深めました。後半では県内の30ブースの出展者と参加者間のマッチング交流が行われ、当部は「ふくなかすい一つ」のPRを行いました。

また、1月30日、郡山合同庁舎において、地域産業6次化関係者の知識・商品力の向上を図ることを目的にクラスター分科会を開催し、23名の参加がありました。

前半では、株式会社タンク ^{ますだ のりひこ} 増田紀彦社長より、売れる6次化商品のパッケージに関する講演と KANAE フードビジネス研究所 ^{あしざわ かなえ} 芦澤香苗代表より、6次化商品開発のコツと今年度開発商品の課題改善についての講義があり、売れる商品はどういうものか、見識を深めました。後半では、今年度開発中のいちごを使った試作品について、参加者で試食を行い、ブラッシュアップを図りました。

試作品については、今回いただいた意見・講評等を参考にしながら、ブランディング等を進め、商品化を図る予定です。



【交流会の様子（左）、分科会の様子（右）】

令和元年度豊かなむらづくり顕彰事業農業生産部門で受賞した 「MKFカンパニー」をご紹介します！

【田村農業普及所・企画部】

豊かなむらづくり顕彰事業では、集落等におけるむらづくり活動や農業生産活動で顕著な功績のある団体等を表彰しています。

今年で38回目となる今回は、1月30日、杉妻会館（福島市）において行われ、管内からは農業生産部門で田村市都路町の「MKFカンパニー」が受賞しました。

MKFカンパニーは、原発事故に伴う農畜産物への風評や耕作意欲の低下等による農地の荒廃が進むなどの課題を克服するため、田村市都路町の肉用牛経営農家有志5戸で組織されました。

当組織は、稲WC S（稲発酵粗飼料）生産のため、地域内で初めて生産機器導入と技術修得などを行うことにより、繁殖成績の改善や子牛生産性の向上に貢献してきました。その結果、高齢化や担い手不足による農地の荒廃解消が図られており、今後も地域の中核的な組織として、活躍が期待されます。



【MKFカンパニーの皆さん】

令和元年度農業経営セミナーを開催しました！

【須賀川農業普及所】

2月5日、福島県中央家畜保健衛生所（玉川村）にて、令和元年度農業経営セミナーを開催しました。

セミナーには、管内生産者のほか、関係機関等、約40名が参加し、税理士法人三部会計事務所 菊地富二夫きくち とみじお 所長より、「農業経営における経営分析の必要性と目的」と題し、PDCAサイクル、損益計算書、貸借対照表の読み方等の講義がありました。

その後、各グループに分かれて経営分析の演習を行いました。参加者からは、「分かりやすく、とてもいい内容でした」等の声がありました。

今後も、農業経営の向上が図られるよう継続した支援を行ってまいります。



【グループ演習の様子】

郡山地域青年農業者スキルアップセミナーを開催しました！

【農業振興普及部】

2月12日、郡山合同庁舎において「郡山地域青年農業者スキルアップセミナー」を開催し、郡山農研ネットワークのメンバーや、郡山市青年農業士など25名が参加しました。

セミナーでは、株式会社パソナ農園隊から派遣された小林正義こばやし まさよし 土壌医から「土づくりの基礎」について講演があり、質疑応答では、受講者から日頃の経験に基づく質問などが多く出されていました。

当部では、経営感覚に優れた農業経営者を育成するため、新規就農者・参入者や青年農業者を対象に「郡山農研ネットワーク」を設置し、研修会等の開催や、メールマガジンによる各種施策や技術の情報提供等を行ってまいります。

随時会員を募集しておりますので、関心ある方は県中農林事務所農業振興普及部（TEL 024-935-1310）までご連絡ください。



【熱心に聴講する郡山地域の青年農業者】

J A夢みなみ水田農業振興大会が開催されました！ 【須賀川農業普及所】

2月12日、J A夢みなみ営農経済本店（白河市）にて、令和2年J A夢みなみ水田農業振興大会が開催されました。大会には、生産者他、関係機関・団体等、約180名が参加し、「J G A Pに取り組み、選ばれる産地を目指そう」などの3つの大会スローガンのもとに意思の統一を図りました。

また、大会の中で、第3回J A夢みなみ「うまい米コンテスト」の表彰が行われ、県知事賞をすかがわ地区の味戸一浩さんが受賞されました。堆肥を使用した土作り、ケイ酸カリ散布により食味向上に取り組まれています。

その後、福島大学食農学部客員教授 宇都宮大学農学部 守友裕一名誉教授より「どうなる、どうするこれからの農業・農村・地域」の講演がありました。

今後も県産米の食味向上への取組を支援してまいります。



【第3回JA夢みなみ「うまい米コンテスト」の表彰式の様子】

令和元年度県中地方グリーン・ツーリズムネットワーク交流会と 令和元年度農家民宿・民泊開設セミナーを開催しました！ 【企画部】

2月14日、郡山合同庁舎において、令和元年度県中地方グリーン・ツーリズムネットワーク交流会及び令和元年度農家民宿・民泊開設セミナーを開催し、19名の参加がありました。

交流会では、株式会社孫の手 孫の手トラベル 山口松之進社長より、第7回グッドライフアワード環境大臣賞優秀賞を受賞した“青空レストラン”のフードキャンプ事業などについて講演があり、興味深い話に参加者から感嘆の声が上がりました。

続いて、田村市グリーン・ツーリズム推進協議会 佐久間辰一会長より、協議会の取組についての事例発表があり、先進的な取組に対し大変興味深く聞いていました。

農家民宿・民泊開設セミナーでは、県観光交流課の民泊事業支援専門員より、農家民宿・民泊の開設について制度比較や優良事例等を交えた講義を行い、制度内容の周知を図りました。



【交流会・セミナーの様子】

令和元年度県中地方有害鳥獣被害防止対策会議を開催しました！ 【農業振興普及部】

2月17日、県三春合同庁舎において、令和元年度県中地方有害鳥獣被害防止対策会議を開催しました。

管内各市町村、J A、農業共済組合等の鳥獣害対策担当者計26名が出席し、本年度活動実績を踏まえ、課題整理と今後の活動計画について検討を行いました。地域・集落が主体となった効果的な取組により、被害を抑制している事例も増えていることから、管内では、ここ数年被害が増加し、平成30年度の農作物被害額は約5,000万円となっております。このうちイノシシによる被害が76%を占めており、効率的・効果的な対策が求められています。

今後も行政・関係機関一丸となって被害防止を図るため様々な対策について検討・支援を行ってまいります。



【会議の様子】

県中地方園芸振興セミナーを開催しました！ 【農業振興普及部】

2月19日、県三春合同庁舎において、県中地方園芸振興セミナーを開催し、県中地方の生産者、市町村、J A等約30名が参集しました。

講演では、農業分野での人手不足が深刻化していることから、社会福祉法人郡山コスモス会の水野博文理事長を講師に招き、「郡山市における農福連携の取組状況」と題して講演がありました。

また、今年度の普及活動成果として、「永続していくトマト産地を目指して」と題してJ A福島さくら湖南トマト部会のG A P取得の取組と「田村地域におけるピーマン産地の育成」と題して田村農業普及所のピーマン振興の取組を紹介しました。

出席者からは活発な意見の交換があり、今後の県中地方の園芸産地振興がますます期待されるセミナーとなりました。



【セミナーの様子】

「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン第5回農林水産物PRを開催しました！

【企画部】

2月22日、JA福島さくら農産物直売所 ふあせるたむら（田村市）において、「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン第5回県産農林水産物PRを開催しました。

田村市産「とちおとめ」と三春町産「さがほのか」の試食・PRを行ったほか、農林水産物クイズに回答いただいた先着300名を対象に、抽選会を実施し、150名の方に田村地域産農林水産物を使用した「ピザ」又は「ジェラート」の引換券のプレゼントを行いました。

さらに、いちご生産者のがもう農園の蒲生和世さん（田村市滝根町）から田村地域産いちごのPRをしていただき、消費者からは「とても甘くて驚いた」「香りが良い」等の声が聞かれました。

今後も、県産農林水産物の消費拡大と地産地消を推進してまいります。



【田村地域産いちごの試食・PR】



【会場全体の様子】

「ふくなかすい一つ」消費拡大キャンペーン抽選会を開催しました！

【企画部】

令和元年12月15日から令和2年2月15日まで実施しておりました、県中地域を中心とする県産農林水産物を使用して県中地域で作られたお菓子「ふくなかすい一つ」の消費拡大と知名度向上を図るキャンペーンが終了しました。

2月25日、郡山合同庁舎において、キャンペーン協力店で商品を購入の上応募された方を対象に抽選会を開催しました。

渡部県中農林事務所長が40名の当選者を抽選し、協力店より厳選したふくなかすい一つの詰合せを郵送にてプレゼントしました。

今後も、ふくなかすい一つの消費拡大と知名度向上に努めてまいります。



【プレゼント内容】

～頑張る農林業者～

～池上慎一郎さん（郡山市）～

台風第19号による郡山市の農作物被害面積は約102haとなり、逢瀬川が阿武隈川に合流する横塚地区でも多くの被害が出ました。

池上さんは、横塚地区できゅうりとトマトのハウス栽培を行っています。所有するハウスも150cmほど浸水しました。栽培中のトマトは泥水につき、暖房機などの農業機械も浸水で故障したため、水やりや温度管理もできず今年度の栽培を諦めかけました。しかし、溜まった泥の排出や、水に浸かったトマトを摘み取るなど草勢維持に努めた結果、枯れると思っていたトマトが見事持ち堪え、収穫することができました。

「元のように、次の栽培も頑張りたい。」と語る池上さん。応急処置して使用している暖房機械の交換や泥水の流入により心配される病害対策、肥料分の流出対策としての土作りなど、本格的な営農再開に向けた支援を行っています。



【浸水後のハウスの様子】



【現在の様子】

～おいしい6次化商品～

★平田村の特定非営利活動法人がんばろう会（だんでらいおん）のベジパン★

ベジパンは、県中地方の農産物を生地や餡に使用した野菜パンのことで、まさに野菜が不足しがちな現代人のためのパンです！！

「一度にあまり量が食べられない人のために、少しでも野菜が摂れるパンを作ろう。」そんな思いから生まれた商品で、野菜が苦手な方でも食べやすく作られています。パンの3分の1が野菜で作られており、ほんのり野菜の甘さが感じられるベジ食パン（にんじん・じゃがいも）と野菜を餡にした、野菜のうまみをダイレクトに味わえるベジあんパン（かぼちゃ・さつまいも）が展開されています。

今回御紹介しますベジパンは、3月25日から毎月第1・4水曜日に郡山合同庁舎消費組合前で出張販売されることになりました！商品を見かけた際には、是非お手にとっていただき、野菜不足を解消しましょう！



【ベジパン4種】

特定非営利活動法人がんばろう会
（だんでらいおん）

〒963-8201

福島県石川郡平田村蓬田新田字大柏 219

TEL 0247-55-3839

FAX 0247-55-3839

カフェを併設した店舗販売も行っております。

お問い合わせ
はこちら！

福島県中農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒963-8540

郡山市麓山一丁目1番1号

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a>

TEL 024-935-1510 FAX 024-935-1314